

新技術・新工法導入に向けた取組について

企業局の水道施設は、これから本格的な施設更新の時期を迎えますが、多額の費用と時間を要することが課題となっています。そこで、**県内外の技術展を視察し、新技術や新工法の導入を進め、コスト縮減や効率化を図っています。**今回、効果が期待できる2件の新技術についての取組を紹介します。

1. 既存塗膜をレーザーで剥がす新技術 「レーザーケレン工法」

令和6年12月、スタートアップ企業の協力のもと、塗装塗替工事の新技術「レーザーケレン工法」のデモ施工&勉強会を開催しました。

「レーザーケレン工法」とは、塗装塗替時に**レーザー光を対象物に照射し、母材を傷めず瞬間的に塗膜や錆を除去する技術です。**

従来工法と比べレーザーケレン工法そのものは高額になりますが、**産業廃棄物の処理費や仮設費などトータルコスト等を総合的に判断すると効果が期待できます。**

令和7年度の水管橋塗装塗替工事で実用していく計画です。



【デモ施工の様子】

2. 防錆補修材を塗布して施設を延命させる新技術 「パワー防錆工法」

令和6年11月、(一社)静岡県新技術協会と協賛し、「パワー防錆工法」のデモ施工・勉強会を開催しました。

「パワー防錆工法」とは、ナノレベルの素材を塗料や接着剤に混ぜた新素材を修繕対象施設に塗布し表面処理を行うことで、**補修だけでなく強度の復元まで可能にする技術です。**

従来工法と比べ**建設費、取壊し費、産業廃棄物処理費、仮設費等の削減効果が期待できます。**

令和6年度の富士川浄水場内の高架水槽の塗装塗替工事で実用していきます。



【デモ施工の様子】

受水市町と合同で応急給水訓練を実施

企業局では阪神淡路大震災から30年が経った1月17日(金)に、公益社団法人日本水道協会及び受水市町と連携した合同応急給水訓練を6年ぶりに開催しました。

県内6箇所で行った訓練を実施し、企業局から水道水を送っている10市町(21名)や、企業局のOBで構成された災害サポーターを含め約70名が参加しました。

情報伝達訓練

発災から市町の給水車へ給水するまでの流れ(右図)について、日本水道協会静岡県支部、受水市町とメールによる情報伝達訓練を行い、手順を確認しました。

給水訓練

情報伝達訓練の流れに沿って、受水市町の給水車に実際に給水し、企業局の給水施設の使い方を市町の職員とともに確認しました。

災害時は、事務職員も作業を行う可能性があることから、今回の訓練においても技術職員だけでなく事務職員が参加しました。



【情報伝達訓練イメージ図】



【浜松調整池】



【寺谷浄水場】



【榛南浄水場】



【三島調整池】



【函南調整池】



【熱海調整池】

企業局では、訓練を通して応急給水のノウハウを継承し、ハード面、ソフト面の改善をさらに加え、災害時への備えを万全にしていきたいと思います。

「工業用水利用促進インセンティブ制度」の活用事例の紹介

企業局では、建設業者様から、工業用水の利用を希望する事業所様について紹介を受け、この度、新規の給水契約を締結しました。

今回は、「工業用水利用促進インセンティブ制度」の活用第1号となった本事例について紹介します。

～「工業用水利用促進インセンティブ制度」とは？～

「工業用水利用促進インセンティブ制度」は、情報提供者様から企業局へ給水希望者様の情報提供を受け、企業局と給水希望者様との間で3年以内に給水契約に至った場合は企業局から情報提供者様へ謝礼をお支払いする制度です。

制度を御利用いただける方

- ・建設業法の許可を受けて建設業を営む事業者
- ・建築士法の登録をして設計等を行うことを業とする事業者
- ・宅地建物取引業法の免許を受け宅地建物取引業を営む事業者
- ・金融機関、企業支援事業者
- ・企業局が管理する工業用水のユーザー

成功報酬(契約水量 1 m³あたり)

区分	柿田川	ふじさん		静 清	中遠・西遠・湖西
		原水	浄水		
報酬単価	300 円	330 円	510 円	780 円	960 円

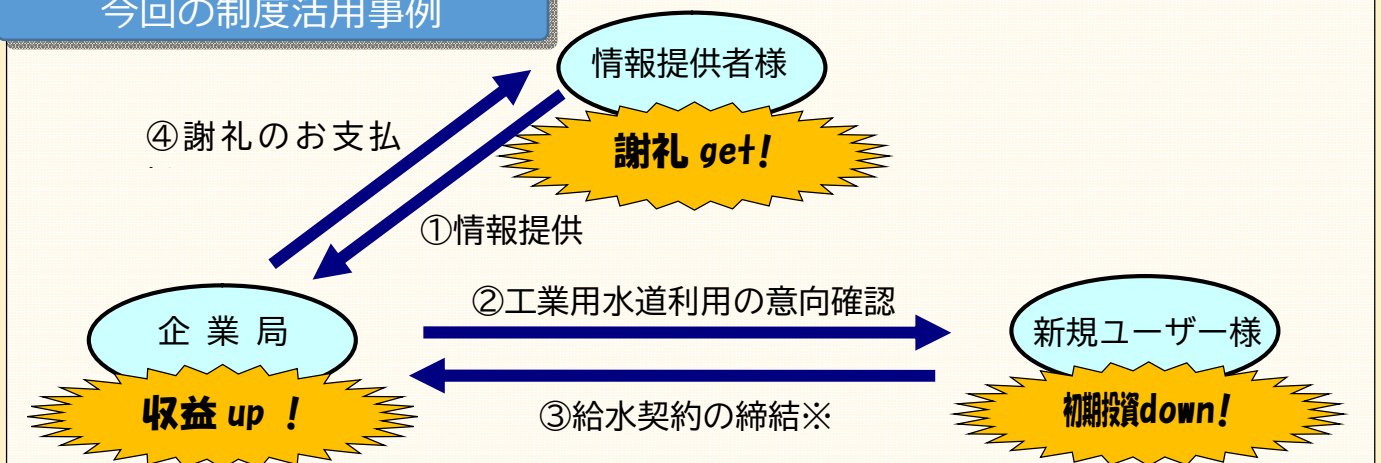
例えば

中遠工業用水で 1,000 m³/日の給水契約締結に至った場合

960 円×1,000 m³=960,000 円 を謝礼としてお支払いします。

～ 今回の制度活用では、3者すべてが **win-win** に ～

今回の制度活用事例



※契約水量に応じ、管路布設工事への支援がございます

今回のケースでは、新規契約したユーザー様の工水受水に係る管路布設工事費について、企業局の支援制度を活用することで、初期投資の費用削減にもつながります。

現ユーザーの皆様が情報提供者として、この「工業用水利用促進インセンティブ制度」を活用した場合、契約水量に応じた料金の減免を受けることができます。

ぜひ、新規の給水希望者様を御紹介ください!



水道事業の業務状況(令和7年1月27日現在)

(単位：千m³、%)

項目	基本水量 (日量)	基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a	
		1月分	累 計	1月分	累 計	累 計	
駿 豆	当 該 年 度	100	3,100	30,600	747	7,349	24.0
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	97.3	99.9	
榛 南	当 該 年 度	27	837	8,262	396	3,987	48.3
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	94.7	93.7	
遠 州	当 該 年 度	292	9,055	89,383	5,411	51,946	58.1
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	101.2	101.2	
合 計	当 該 年 度	419	12,992	128,245	6,554	63,282	49.3
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	100.3	100.6	

工業用水道事業の業務状況(令和7年1月27日現在)

(単位：千m³、%)

項目	基本水量 (日量)	基本水量 a		使用水量 b		使用率 b/a	
		1月分	累 計	1月分	累 計	累 計	
柿田川	当 該 年 度	100	3,100	30,600	2,499	25,632	83.8
	前年度同期比	100.0	100.0	100.0	99.1	103.9	
ふじさん (富士川)	当 該 年 度	25	783	7,797	564	6,130	78.6
	前年度同期比	101.9	101.9	101.3	95.6	97.5	
ふじさん (東駿河湾)	当 該 年 度	295	9,135	91,453	5,720	67,414	73.7
	前年度同期比	99.5	99.5	99.6	93.3	99.7	
静 清	当 該 年 度	46	1,392	13,890	874	9,871	71.1
	前年度同期比	100.0	100.0	99.7	94.8	97.0	
中 遠	当 該 年 度	33	1,027	10,172	295	3,778	37.1
	前年度同期比	99.7	99.7	100.0	94.0	98.8	
西 遠	当 該 年 度	29	870	8,877	504	5,804	65.4
	前年度同期比	98.6	98.6	99.6	101.7	96.9	
湖 西	当 該 年 度	17	520	5,008	251	2,836	56.6
	前年度同期比	104.3	104.3	100.7	93.9	96.5	
合 計	当 該 年 度	545	16,827	167,797	10,707	121,465	72.4
	前年度同期比	99.9	99.9	99.8	95.2	100.0	

工業用水道事業水質試験結果(令和7年1月)

1月の水質試験結果(月平均)は、全工水で各項目標準値以内となっています。

※月平均

項目(単位) (標準値)	水温(°C) -	濁度(度) 20度以下	ph 6.5 ≤ pH ≤ 8.0	アルカリ度(mg/l) 75mg/l 以下	硬度(mg/l) 120mg/l 以下
柿田川	15.7	0.0	7.3	51.1	48.5
ふじさん(富士川)	10.7	0.3	7.7	43.3	44.6
ふじさん(東駿河湾) (岳南地区)	8.4	1.9	7.5	53.2	74.1
ふじさん(東駿河湾) (静清庵地区)	7.9	1.3	7.6	54.2	73.3
静 清	15.5	0.0	7.5	49.9	71.4
中 遠	11.2	0.2	7.6	37.6	41.4
西 遠	7.6	0.6	7.4	37.4	46.0
湖 西	7.9	0.5	7.4	14.6	16.6

※その他項目等の水質試験結果の詳細は企業局HPにて

<https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/suido/kogyoyosui/1040824/index.html>